

6. 連合運動の社会的発信力の強化

(1) 連合運動を広める効果的な広報活動

連合・連合愛知の各種取り組みを幅広く県民に訴えるため、連合愛知街頭宣伝行動年間計画を策定し、地協と連動して月1回を基本とした街頭宣伝行動を県下各地域で実施した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3月以降の街頭宣伝行動を中止とし、7月よりWeb等を使って連合愛知労働相談の周知・啓発を実施した。

また、機関紙（かわら版）、ホームページ、SNSを活用し、連合愛知の各種取り組みや街頭宣伝行動の告知などの情報発信を行った。

メディア広報として、ZIP-FMのラジオ番組（4月～6月）、CBCラジオにてCMを放送し、ホームページや労働相談ホットライン等への誘導をはかった。さらに、一人ひとりの働き方を見つめ直すヒントと若年層へのアプローチのために、「ONE WORK project」の動画配信を行った。

連合愛知の各種調査について、Webアンケート機能を活用し、調査・集約の効率化をはかった。



ZIP-FMラジオ番組

(2) 社会的うねりを創りだすキャンペーンの実施

「連合アクション※」として、「Action!36」や「みんなの春闘」を中心に、取り組みを展開した。具体的には、11月に「働き方改革関連法」の適切な運用について周知・啓発をするために、街頭宣伝行動を実施した。「サブロクの日」には地協と連携し、一斉街頭宣伝行動を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とし、事務局での流し街宣を実施した。

また、「2020春季生活闘争」の周知のために、動画を配信した。



「社会的うねりを創りだすキャンペーン」街頭宣伝行動

※「クラシノコアゲ応援団！」に続く連合の新たな取り組み